

南区自治協議会（第7期）を振り返って

南区自治協議会会長 小田 信雄

1 はじめに

第7期の南区自治協議会は、改正された区自治協議会条例に則り選出された委員30名の活発な議論と区民の熱気あふれるまちづくりへのエネルギーに支えられスタートいたしました。

旧来の地方自治法の規定に基づく区地域協議会としての位置付けから、新潟市の附属機関の一つとして市民や区民の生活を会議に提起し、課題を明確にし、対策や解決策を議論し、その課題実現のために行政と協働する、その要としての役割を果たしていくという大きな目標を掲げての出発でありました。

第6期から取り組みを始めた「南区まちづくり活動サポート事業」では、古い一枚の写真から地域のエネルギーを引き出した「白根子行進曲」や伝統芸能を児童に継承させる支援事業など、新しい芽生えがあちらこちらに感じられ、会議の討論も本格化し熱を帯びてきた矢先、令和2年春先から新型コロナウイルス感染症の流行により大きな足踏みを余儀なくされてしまいました。年度初めは全体会を書面開催による意見の聴取や議決にせざるを得ない状況になりました。その後、事務局の一部でリモート方式を採用し、ソーシャルディスタンスを確保するために会議室のレイアウトを変更するなどさまざまな工夫を加えながら会議を開催し、南区の課題に取り組んでいるところです。

このコロナという未曾有の困難に直面している区自治協議会ではありますが、委員の熱意が議論の各所に発揮され、いくつかの新たな成果を見出した事も評価しなければなりません。

議論に不慣れであった南区で、議論することの大切さが定着し、会議の雰囲気ガラリと変わりました。一方、区組織目標への評価も定着し、区長に新たなまちづくりを提言し、新たな方針に変化を促したこともいくつかありました。嬉しいことに今期は、通常の行政評価の視点から、市民目線へ視点を変えることにより、さらに精度の高い評価にすべきとの画期的意見が続出し、その方向へ大きく舵を切り始めています。数字による評価から、市民の体感的感覚の評価も加えていくことの重要性に気づき始めました。

また、この困難と、新潟市の諸般の情勢が、市民の生活とまちづくりに対して行政の力のみでの達成は明らかに限界であり、地域や市民との「協働」が不可欠の時代になったことも立証してくれました。南区自治協議会の掲げる「自治」と「協働」と「分権」の旗印が今後ますます重きを増すことは確実です。このことが地方自治

法252条の20第7項の規定から離れた新しい区自治協議会の進むべき道であり、南区の「自治」の深化にとって「南区自治協議会」の果たす役割は今後ますます大きくなっていきます。

2 取組内容・成果・課題

(1) 全体会について

ア 会議運営方法の見直し

第6期までは、発言の際、挙手、起立をして行っていました。しかし、起立をすることが困難な方がいること、また発言しやすい雰囲気をつくるため、第7期からは着座のまま発言することにしました。

また、全体会で事務局が報告・連絡する事項については、1項目ごとに報告・連絡をして質疑を受ける方法をとっていましたが、報告・連絡事項を全て説明してから一括して質疑を受けた方が、スムーズな会議運営が行えるのではないかという意見が委員の中からありました。

このような意見を踏まえ、令和元年度7月の全体会から報告・連絡事項は全項目まとめて説明し、その後、質疑を受け付けることしました。このことにより、時間が短縮できるだけでなく、会議をスムーズに行うことができました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、会議を必要に応じて書面開催にし、事務局の一部をリモートで開催するなどして感染症拡大防止に努めました。

それぞれの地域や団体における課題等を持ち寄って発言していただき、区民等の意向を行政運営に反映させるような雰囲気づくりを行っていくことが、今後の課題です。

イ 南区自治協議会委員研修会の開催

市内全区の研修会に加え、区独自研修として西蒲区と合同で委員研修会を開催しました。

令和元年度は、「子ども食堂について～その背景と現状～」をテーマとして新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科 村山伸子教授による講義、また「おひさま子ども食堂の歩み」をテーマとしておひさま子ども食堂 田子幸子氏による事例発表の後、両区の委員でグループごとに意見交換を行いました。

令和2年度は、しろね大仏と歴史の館を視察後、「コロナ禍における区自治協議会のあり方について」、「第7期区自治協議会の振り返り」などをテーマに意見交換会を行いました。

コロナ禍において、他区がどのように会議や提案事業を工夫しているかなどを意見交換することができ、貴重な機会となりました。

(2) 部会・提案事業について

ア 第1部会

第1部会は、公共交通、防犯・防災、環境、建設、都市計画等の分野を所管する部会です。

第7期では、軌道系公共交通機関のない南区にとって重要な問題である区バス・住民バス・乗合タクシーの利活用について重点的に審議し、第6期に引き続き、高校生や高齢者などの交通弱者からいかに利用してもらえるか、区役所と協働しながら取り組みました。

また、第6期に引き続き、部会の役割検討特別部会の報告書に沿って、南区組織目標の検証を行いました。令和元年度は「区バス利用者数、乗合タクシー利用者数」、「総合防災訓練参加数、自主防災組織全23組織の訓練実施、空き家相談会の回数」、令和2年度は「区バス利用者数、乗合タクシー利用者数（区バス運行支援協賛企業数）」、「総合防災訓練参加数、自主防災組織全23組織の訓練実施、空き家相談会の回数（全14地区での「防災虎の巻」作成・自主防災訓練全23組織の訓練実施・空き家利活用に向けた取組みの実施）」について検証を行い、9月の全体会で検証結果を報告しました。

本部会で取り組んだ主な提案事業は、南区公共交通PR事業、南区防犯・防災啓発事業です。

南区公共交通PR事業では、区バスなどを利用する人にわかりやすい情報紙を作成し、全世帯に配布するとともに、区バスの車内を季節ごとに装飾して区バスに親しみをもってもらい、利用者数の増加につながるよう工夫しました。これらの取組みにより、普段、バスに乗らない子どもたちが区バスに興味を持ち、親も含めたPRにつながりました。

区バスなどの利用が特定の人に偏っている傾向にあるため、これらの取組みを通じて、いかに認知度を高めていくかが今後の課題です。

また、防犯・防災啓発事業では、区内の新小学1年生へ交通安全用反射材を配布するとともに、第5期に作成した「安心・安全ステッカー」を委員の自家用車に貼り付けて“ながらパトロール”を行う「南区安心・安全みまもり隊」の活動に引き続き取り組みました。

イ 第2部会

第2部会は、健康・医療、福祉、教育、地域、男女共同参画等の分野を所管する部会です。

第7期では、南区家族ふれ愛事業と出会いの場づくり事業に取り組みました。

南区家族ふれ愛事業は、家族のつながりを大切に、温かい家庭をつくることを目的として、11月を「南区家族ふれ愛月間」と定め、南区内の小学4年生による絵画展、中学1年生による川柳・標語展を行うほか、映画上映会を開催

し、家族ふれ愛月間の定着を図りました。

出会いの場づくり事業では、少子高齢化対策について重点的に取り組み、定住人口を増やそうと婚活事業に取り組みました。

また、第6期に引き続き、部会の役割検討特別部会の報告書に沿って、南区組織目標の検証を行いました。令和元年度は「ミニブック型集団健診受診者数」、「地域の茶の間設置件数」、「子育て支援リーダーの人数」、「障がい者の販売店舗の数」、令和2年度は「ミニブック型集団健診受診者数（電話による受信勧奨人数）」、「地域の茶の間の設置件数または開催頻度」、「子育て支援リーダーの人数、勉強会の回数」、「障がい者の販売店舗の数」について検証を行い、それぞれ9月の全体会で検証結果を報告しました。

ウ 第3部会

第3部会は、産業、観光、文化・スポーツ等の分野を所管する部会です。

第7期では、南区魅力発信事業と南区スポーツ交流事業に取り組みました。南区魅力発信事業は、南区の魅力を最大限に区内外へ発信し、交流人口の拡大を図ることを目的として部会で検討し取り組みました。

区外からの観光客などに南区の魅力を知らせようと、第6期に引き続き、観光案内看板を増設しました。また、区内の文化資源を掘り起こし、重要文化財旧笹川家住宅や曾我・平澤記念館などの区内の文化施設に観光客を呼び込むため、どのようにしたら良いか効果的な方法などを話し合い、曾我・平澤記念館に建物の魅力も併せて紹介するパネルを設置しました。

そのほか、地域の農業に興味や愛着を持ってもらい、食や農業に対する理解と関心を深める機会とするため、親子農業体験事業や、地元特産農産物を使った料理教室を開催しました。

また、南区スポーツ交流事業は、親子のふれあいの場をつくり、区民の健康づくりの一助となるよう、子どもから大人まで楽しめるファミリーダンスを開催しました。

また、第6期に引き続き、部会の役割検討特別部会の報告書に沿って、南区組織目標の検証を行いました。令和元年度は「重要文化財旧笹川家住宅、しろね大凧と歴史の館入館者数」、「民間等と協働により開発した新商品数」、令和2年度は「重要文化財旧笹川家住宅、しろね大凧と歴史の館入館者数（展示替えの実施箇所数）」、「民間等と協働により開発した新商品数」について検証を行い、それぞれ9月の全体会で検証結果を報告しました。

エ 広報部会

広報部会は、広報に関することを所管する部会です。

第7期では、南区自治協議会だよりを各年度3回、計6回発行しました。

区自治協議会委員や部会の活動、地域コミュニティ協議会の先進的な取り組み

などを紹介し、興味を引く紙面づくりに努めることにより、区自治協議会の認知度向上を図りました。

しかし、委員に就任するまで区自治協議会だよりの存在を知らなかったという意見が聞かれるなど、区民に読んでいただける紙面となるよう、さらなる工夫が必要です。

オ まちづくり活動サポート事業

平成30年度から実施している提案事業の一部を区内の地域活動団体から事業募集し、区自治協議会が選定・採択して協働実施する「南区まちづくり活動サポート事業」は、令和元年度は6事業、令和2年度は4事業を選定して事業委託しました。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初、3事業の応募、2事業の採択にとどまったことから10月に再募集を行いました。

また、令和元年度から予算を増額し、地域コミュニティ協議会や地域活動団体から積極的に取り組んでいただきました。

※提案事業の具体的な成果・課題等については、添付の事業評価書を参照ください。

3 おわりに

南区が抱える基本的な構造問題や課題は、合併後も大きく変化しておらず、人口の減少や高齢化については、他の区よりむしろ拍車がかかっています。8区唯一の軌道系公共交通機関をもたないハンディは大きく、区民の移動手段の利便性や生活、産業の発展に計り知れない影響を及ぼしていることは間違いありません。

まちづくりを所管する部会では、その多くの力を区バスや交通問題、にぎわいの創出に傾注しています。区内で完結するという区バスの概念の撤廃や、まちなか循環バスの社会実験から本格運行への移行など、交通弱者に対する利便性の向上に向けて取り組んでいます。

一方、広大な農地を背景に、県内トップクラスの農業生産額、近年増加傾向にある工業生産額など、他の区に誇れる豊かな面もありますが、多くの市民が「働く」、「住む」、「楽しむ」というまちづくり三原則に、合併後のさまざまな取組みが有機的に機能していない問題に気づき始めました。

このような中、地域コミュニティ協議会などの活動や「にいがた南区創生会議」の提言により、交通結節点を軸にした新たなまちづくりの動きが始まり、区自治協議会も新新潟市都市計画マスタープランの改定を契機に、各部会が横断的に総合的なまちづくりへの議論を進めてきました。

区自治協議会の役割と市民が求めている区への期待が、委員や市民の中に次第に明確になってまいりました。会議における検討がそれを物語っています。8区の中

で人口の一番少ない区であるがゆえに議論という自治の最大原則がまがりなりにも定着しつつあると思います。

新型コロナウイルスの嵐は必ずや治まります。今期中今まで以上に高まったこの区自治協議会へのモチベーションを維持しつつ第 8 期区自治協議会に期待いたします。

区自治協議会提案事業 事業評価書

南区自治協議会(全体会)

区分	内容
テーマ・事業名	南区まちづくり活動サポート事業 【事業費予算 2,500千円】
事業目的・概要	地域活動団体と連携することにより今まで以上に効果的な事業展開を図るため、南区区ビジョンまちづくり計画に掲げる様々な地域課題の解決につながる取り組みを、南区内に主たる活動拠点を有する地域活動団体から1事業につき50万円以内で募集して事業委託する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>◆ふれあい公園イルミネーション事業【白根大通もりあげたい】 12月8日(日)～1月12日(日)までの期間、大通ふれあい公園の駐車場内を電飾や大通小学校4年生児童が作ったペットボトルツリーで飾り、子どもから大人まで楽しめるイベントを開催した。</p> <p>◆新飯田地域活性化プロジェクト・元気な市日計画【新飯田コミュニティ協議会】 7月～8月の夏休み期間中、5・10のつく日に開催される市日に合わせて7回にわたり空き家を開放して地域内外の人が触れ合える居場所をつつた。また、11月10日(日)に特産品を自由に販売できる場の提供として収穫祭を開催した。</p> <p>◆地域史跡文化を理解し、併せて青少年育成事業【庄瀬地域コミュニティ協議会】 地域の史跡、石碑10か所に案内板を設置するとともに、案内板設置場所とその内容について記載したパンフレットを地域内全戸、学校等に配布して広報に努めた。また、11月7日に庄瀬小学校6年生を対象に現地及び教室での研修を実施した。</p> <p>◆旧白根配水塔 国登録文化財登録記念事業【白根コミュニティ協議会】 6月12日(水)に諏訪木保育園児と一緒に配水塔周辺に設置するプランターの花植えを行った。8月23日(金)に長岡水道公園と燕市旧浄水場を視察し、どのように整備活用したり維持管理しているかを学んだ。また、配水塔を訪れる人向けに写真入り看板とベンチを設置した。</p> <p>◆うすいっ子 樽タタキ 復活【臼井地区コミュニティ協議会】 戸石地域に引き継がれてきた子ども樽タタキは、子どもの減少などにより5年前に解散した。これまでの戸石樽タタキの継承を含め、楽曲、振り付け等を新たに作り上げ、臼井小学校児童から希望者を募り「臼井樽砵」として復活した。</p> <p>◆白根子行進曲復活プロジェクト【白根商工会白根支部】 昭和6年の白根大火からの復興を祝い仮装行列を行ったとされる「白根子行進曲」を、10月22日(祝日)に約90年ぶりに復活・再現するイベントを開催した。当日は、猫に仮装した100人を超える参加者が白根本町通りを行進し、仮装コンテストも実施した。また、連携事業として、イベントに併せ白根高校生徒が空き店舗シャッターの色塗りや商品の開発・販売を行った。</p>
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	<p>○ 採択されたそれぞれの団体から、南区の活性化につながる個性あふれる事業を展開していただくことができた。</p> <p>○ 様々な事業提案や実際の事業実施を受けて、区内の他の地域活動団体の活動への波及や刺激となることが期待できる。</p> <p>○ 多くの事業が提案されることが地域の活力につながると思われるので、自治協議会委員の出身母体をはじめ、多くの団体から提案していただけるようPRする必要がある。</p> <p>○ この事業は、地域の課題解決・活性化への種まき事業という位置づけであることから同じ事業を2年続けて採択することはできないが、それぞれの団体がその後の資金手当てを検討のうえ、採択事業が一過性で終わることなく継続・発展して大きな実を結ぶような取り組みをお願いしたい。</p>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

南区自治協議会第1部会

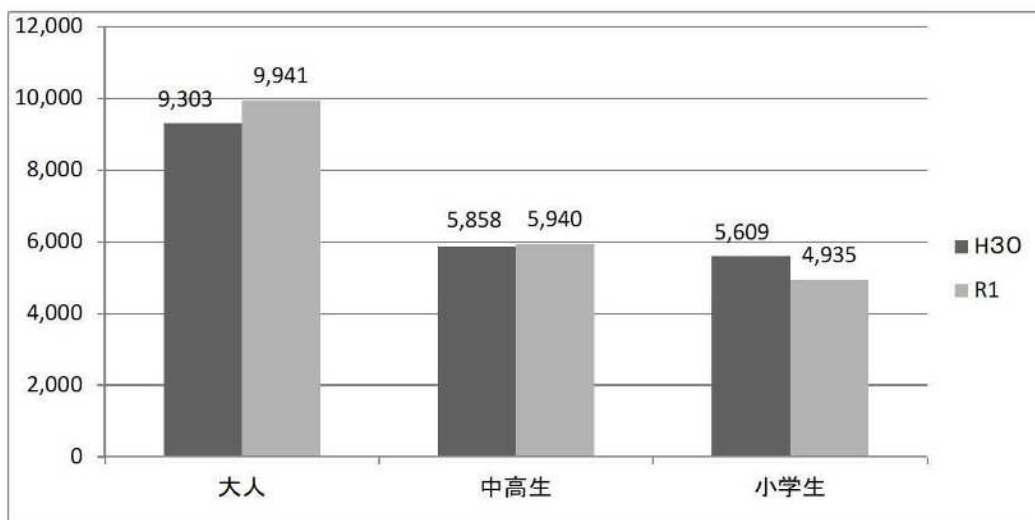
区分	内容
テーマ・事業名	・南区公共交通PR事業 ・南区防犯・防災啓発事業 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	【南区公共交通PR事業】 ・南区の区バス・住民バス・乗合タクシーの利用啓発を図り、利用者数増加につなげるため、情報紙などの作成や区バスの車内装飾によるPRを行う。 【南区防犯・防災啓発事業】 ・南区の防犯・防災に係る啓発活動を行い、安心・安全で、住みよいまちづくりにつなげるため、各種啓発グッズ作成や地域を見守る仕組みの検討等を行う。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	【南区公共交通PR事業】 ○公共交通にかかるイベント実施 ①夏休み期間の8月5日～8月23日にかけて、区バスの車内をジャングルをモチーフにしたバルーン等で装飾したジャングルバスを運行。(継続) ②9月2日～20日の期間、南区特産のフルーツをモチーフに車内を装飾したフルーツバスを運行。抽選で南区産フルーツをプレゼント。区バスと合わせて南区のフルーツについてもPRを行った。(継続) ③12月9日～25日の期間、車内をクリスマス装飾したクリスマスバスを運行。期間中乗車した方に花の種をプレゼントした(継続) ○南区公共交通ガイド、乗合タクシー利用チラシの作成、配布(継続) ○区バス協賛広告の更新(継続) ○医療施設や商業施設内にチラシを設置(16施設)、地域の茶の間で公共交通の取り組みPR(10か所)(継続) 【南区防犯・防災啓発事業】 ○「南区安心・安全みまもり隊」のステッカーを各自治協議会委員に配布し、みまもり活動の実施(継続) ○新小学1年生へ反射材の配布(継続)
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	【南区公共交通PR事業】 ○バスの装飾イベントを3回実施したことで、普段バスに乗らない子どもたちが区バスに親しみを持ってもらえる機会を多く設けた。また地域の茶の間で区バスをPRすることで、地域の中で公共交通の利用意識の啓発を行った。利用者数については、中学生や小学生の通学利用が減少する一方、大人(高齢者)の利用が増加傾向にあり、取り組みに対し一定の効果があつた。(利用者実績については別紙のとおり) ○課題として、運転免許返納後の福祉的観点も含めた、サポート体制の充実やPRの実施が必要。また、買い物弱者支援など、目的や地域の実情に沿ったPR方法の検討を行い、既存のPR事業と合わせて新規の利用者増加を図る。 ○車内装飾などのPRを行った結果、まちなか循環ルート「ぐるりん号」の利用者数が増加し、令和2年度からの本格運行化へ寄与した。 【防犯・防災啓発事業】 ○「南区安心・安全みまもり隊」の活動は、自治協議会委員自ら地域の安心・安全への意識を高めてもらうことにつながっているが、さらに各地域の防犯協会、青少年健全育成協議会などの関係団体と連携して安心・安全に関する機運を盛り上げる必要がある。 ○次年度は、交通安全協会や各防犯協会、地域ごとの取り組みについて調査・情報共有を行い、事業内容について検討する。
備考	

(次頁に続く)

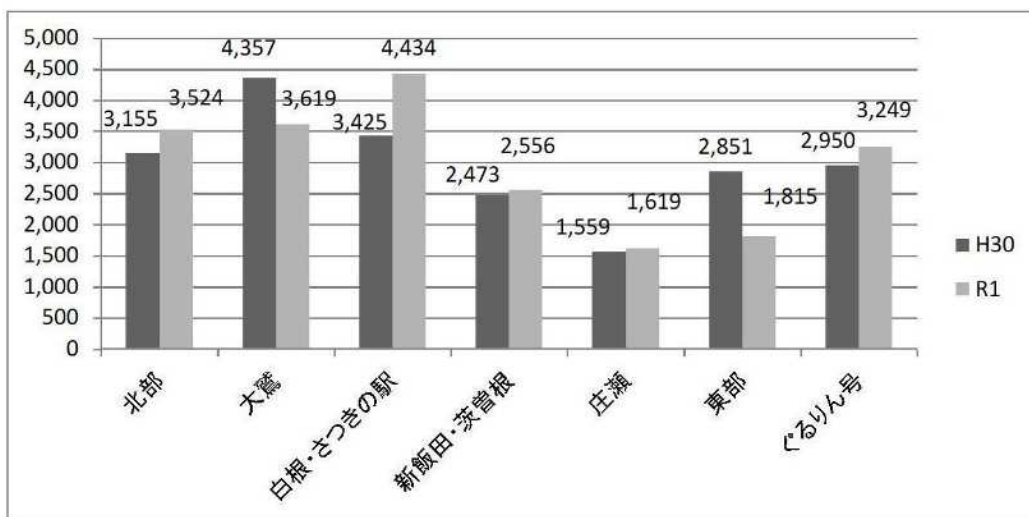
区バス・乗合タクシー利用実績(4～12月)

別紙

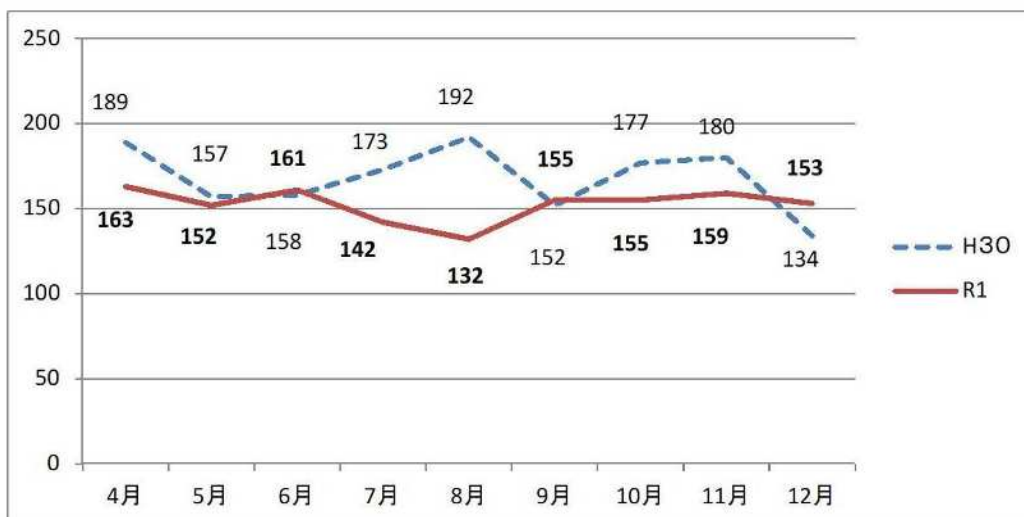
●利用者別推移



●路線別利用者推移



●乗合タクシー利用者推移



令和元年度区自治協議会提案事業 事業評価書

南区自治協議会第2部会

区分	内容
テーマ・事業名	◆南区家族ふれ愛事業 ◆出会いの場づくり事業 【事業費予算 1,500千円】
事業目的・概要	◆南区家族ふれ愛事業の8年目として、映画上映会等と児童・生徒の絵画・川柳展を行い、「家族ふれ愛月間」のさらなる定着を図る。 ◆少子化対策、晩婚化・未婚化対策、定住化の促進を目的として、独身の男女を対象に、南区での出会いイベントを開催する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	◆南区家族ふれ愛事業 ○南区「家族ふれ愛月間」絵画展、標語・川柳展の開催 ■日時:令和元年11月1日(金)～11月20日(水) ■会場:白根学習館1階 交流広場 絵画展/標語・川柳展 展示総数:588点 ・(絵画)南区内小学校4年生の児童261人から出品された。 ・(標語・川柳)南区内中学校1年生の生徒327人から出品された。 ※地区文化祭、地域生活センターで絵画・川柳展示 展示箇所:茨曾根小、庄瀬小、小林C、臼井小、臼井中、大鷲小、大通C、味方中、月湯中 ○南区「家族ふれ愛月間」映画上映会等の開催 ■日時:令和元年11月10日(日) 午後2時00分から ■会場:白根学習館1階 ラスペックホール ■内容:「夢は牛のお医者さん」上映会 & 笛人本宮宏美スペシャルコンサート 来場者数:380人 ・映画上映後、映画のサウンドトラックを担当したフルート奏者による演奏会を併せて実施。 ◆出会いの場づくり事業 ○「アグリパークdeプレクリスマスパーティー 恋のふわふわパンケーキ」の開催 ■日時:令和元年12月8日(日) 午前10時30分から ■会場:アグリパーク 参加者:男性20人、女性17人 ※4組のカップル誕生 ・ゲームやクイズ、パンケーキ作りによる婚活イベントの実施。
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	◆南区家族ふれ愛事業 【評価】 ・上映会は来場者も多く、恒例の事業として区民の期待が感じられ継続していきたい。今回はフルート演奏も組み合わせることでさらに好評であったと思われる。 ・絵画・川柳展は、小中学校から参加してもらっており、各地域の文化祭での展示も定着し、地域への事業周知に繋がっている。 ・1年に1回南区の子どもたちの作品をまとめて見ることができ、子どもたちにとっても家族のふれあいを意識づけるよい機会となっている。 【課題及び今後の取組】 ・テーマ、目的を明確にしつつ映画上映等の事業を継続していく。 ・来場者は高齢者がほとんどであるため、幅広い年齢層に働きかける工夫が必要である。 ・小学生の絵画出品については保護者や学校から負担の声も聞かれるため、対象や募集方法を見直しながら継続していく。 ・展示されていることを知らない保護者も多いので周知の工夫が必要である。 ・学習館での展示方法について、縦から横のレイアウトに変更するなど、より見やすい展示方法を検討していく。 ◆出会いの場づくり事業 【評価】 ・参加者に本気度が感じられ、カップル成立数も昨年度5組、今年度4組と成果は順調であり継続していきたい。 ・女性の事前説明会も実施したことで、雰囲気の良い会となり効果があったと思われる。 ・女性の参加者募集に苦戦した。 【課題及び今後の取組】 ・女性の応募を増やす工夫が必要である。 ・もう少しゆっくり会話できる時間があるとよかった。 ・会場やイベント内容を検討しながら継続していきたい。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

南区自治協議会第3部会

区分	内容
テーマ・事業名	<p>◆南区魅力発信事業 ◆南区スポーツ交流事業</p> <p>【事業費予算 1,000千円】</p>
事業目的・概要	<p>◆南区魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南区の魅力を紹介する観光案内看板を設置する。 ・地域の農業に興味と愛着を持ってもらい、食や農業に対する理解と関心を深める機会とするため、親子で農業体験(定植, 収穫, 料理教室)を実施する。 ・曾我・平澤記念館などの南区内の文化資源の掘り起こしのため、曾我量深氏, 平澤興氏の出身であり、要職に就かれた大学へ訪問し意見交換を実施する。 <p>◆南区スポーツ交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子のふれあいの場をつくり、区民の健康づくりの一助となるよう、子どもから大人まで楽しめるファミリーダンスを開催する。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>◆南区魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光案内看板の設置 ・月潟出張所前に南区観光案内看板を設置し、区内の観光施設等のPRを行った。(南区で設置した看板は全部で4か所) ○親子農業体験事業の実施 ・日時: 令和元年6月22日(土) 午前10時～午後0時 (第1回目) 令和元年10月26日(土) 午前10時～午後1時 (第2回目) ・会場: 新潟市アグリパーク ・参加者数: 10組25人 ・内容: 新潟県全体の8割が南区で生産されている食用菊「かきのもと」について、定植, 収穫, 料理教室を通して学ぶ。 ○大谷大学, 京都大学への訪問 ・日時: 令和元年12月4日(木)～5日(金) ・訪問者: 自治協議会委員2人, 事務局1人 <p>◆南区スポーツ交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ファミリーダンス教室の開催 ・日時: 令和元年12月21日(土) 午後1時30分～2時30分 ・場所: 白根児童センター アリーナ ・講師: ダンススクール「ラビットクラブ」 諸橋 香奈 氏 ・参加人数: 92人(小人: 74人 大人: 18人)
事業の評価 <small>〔地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など〕</small>	<p>◆南区魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光案内看板の設置 ・月潟出張所前に設置し、南区全体に観光案内看板が設置されている箇所が4か所となった。区外からの観光客を中心に区内の観光地や文化施設などに行っていたくきっかけづくりができた。一定の目的が達成できたため、看板の設置は今年度で終了とする。 ○親子農業体験事業の実施 ・アグリパークで野菜の収穫体験がとてもよかった。 ・かきのもとを学ぶ体験は良かったが、それに加え子どもたちが収穫して楽しめる作物で農業体験ができるともっと参加しやすくなる。 ○大谷大学・京都大学への訪問 ・味方地区をはじめとする地元の盛り上げが必須である。 ・今回の訪問を踏まえて曾我・平澤記念館の展示替えや新たなパンフレットを作成することなど、さらなるPRに向けてできるところから行っていく。 <p>◆南区スポーツ交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ファミリーダンス教室の開催 ・小学校の冬休み期間に合わせて実施したことで多くの子どもたちに参加してもらうことができ、寒い中でも体を動かすことができた。
備考	

(※令和2年度 南区事業評価書は令和3年3月中に確定)